

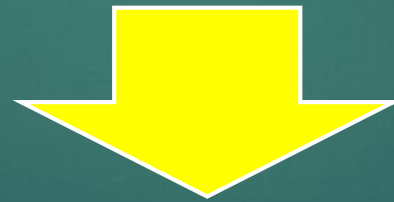
# 推進テーマ 園生活から小学校生活への スムーズな接続を図る



森の台小学校  
森の台保育園

# 推進テーマ設定の理由

- ・遊ぶことも学ぶことも本質は同じことである。しかし、子どもにとっては遊ぶことと学ぶことに大きなギャップを感じている。
- ・入学直後は、保護者から離れられずに泣いている児童もいる。
- ・保育園、幼稚園等と学校は違うと認識されている。  
→本来はどちらも学ぶ場所で同じである。



活動を共にする中で、園生活と学校生活をスムーズにつなげたい。

# 活動内容

- 5月 年間計画
- 6月 顔合わせ・1年ルームで遊ぶ
- 9月 図書室で読書 視聴覚室でゲーム
- 10月 振り返りと今後の活動検討
- 11月 秋遊び 体育の交流
- 2月 小学校体験
- 3月 ここまでの振り返り

# 今年度の重点課題

- 来校した園児をお客さんにしない。
- お互いがそれぞれの視点で活動に参加する。
- 子ども同士、顔が見える関係を作る。
- 園と学校で相談しながら活動を決める。



# 活動の実際



## <1年ルームで一緒に遊ぶ>

- ・一緒に遊ぶことを通して顔の見える関係をつくる。
- ・園児にとっても児童にとっても学校で遊ぶことを通して、スムーズに学校の生活に慣れる。
- ・遊ぶことも学ぶこと。
- ・スタカリによる交流。

# 活動の実際



## <図書室での本読み>

- ・ 読みたい本を一緒に選ぶことで、児童と園児のコミュニケーションの時間が生まれた。
- ・ 図書室で児童と園児が一緒に本読みをする中で、本の内容について話をする事ができた。



# 活動の実際

後半はどんな活動ができますか。

昨年度は運動会の演技を見せあったけど、活動した感じは薄かったかもしれませんね。

体育ではどんなことをやっているのですか。

今の時期だとボール運動などもやりますよ。

園児たちもドッチボールは好きですよ。

いいですね。1年生もドッチボールが好きだから、一緒にやってみたら楽しいかもしれませんね。

## <活動の検討会>

- ・ どんな活動をしたら、児童も園児も充実した活動になるかを小学校と保育園で相談した。
- ・ 給食や体育の状況、学習の様子を話し合うことで、体育と一緒にドッチボール、秋遊びに参加等ができないかとアイデアがまとまった。
- ・ 園児をお客様にしない活動。

# 活動の実際



＜園児が好きな活動を取り入れた＞

- ・昨年度は運動会の演技を見せあったが、一緒に活動する感じが足りなかった。
- ・児童も園児もボールをよけたり、投げたり楽しむ様子が見られた。
- ・どちらの活動も保証される。
- ・お客様ではなく、お互いの活動が充実する。



# 活動の実際



## <生活科の交流>

- ・ 秋遊びを一緒にする中で、児童も園児も思ったことや感じたことを話す場面があった。
- ・ 遊びの中に学びがあることを一緒に体験することができた。
- ・ 園の活動と似ている活動。

# 成果と課題

## <成果>

- 同じ園の園児と交流するときは、できるだけ同じペアで活動することで、活動の質を高めた。
- 園児はお客ではなく、一緒に活動する仲間として活動することができた。
- 交流とスタートカリキュラムをつなげることで、よりスムーズな接続につながった。

## <課題>

- 日程を調整するときに、学校や園の行事等が重なることが多く、調整の難しさを感じた。
- お互いを知るために交流を行ったが、お互いの業務を知れば知るほど、それぞれの考えに折り合いをつけていくことが難しいことも見えてきた。
- 園としてはさらに他学年とも交流したいという思いがあるので、今後検討していく。